

トピックス

TOPICS 1

Topシェアのユニデンが、新たな市場を創り出す

Unidenが米国市場シェアを95%以上保有しているラジオスキャナにおいて、デジタルスキャナという新たな市場を作り出す、画期的な新規商品SDS100・SDS200をリリース致しました。

リリース直後より順調に増販を継続しています。



新規商品紹介 (小型UCB HANDHELD) を10月にリリース

オセアニア市場では、市場シェアトップのUCB無線機のカテゴリにおいて2018年10月にリリースした小型UCB HANDHELDの販売が非常に好調で、同カテゴリでNo.1アイテムになりました。



TOPICS 2

不動産事業の飛躍

売り買いの両面で価格規模の大きい取引が増加した事により、好調に推移いたしました。

新規物件4棟を購入し、賃料収入全体では8億6,500万円(前年同期比9.91%)となりました。また、期中に保有物件8棟、駐車場2件を売却し、売却益を獲得いたしました。

引き続き、都心部の高稼働率で安定した賃料収入が見込める優良な物件の取得を進め、更なる事業拡大を図ってまいります。



銀座ビル (正面)

■ 会社概要 (2019年3月31日現在)

会社名	ユニデンホールディングス株式会社		
設立	1966年(昭和41年)2月7日		
資本金	180億円		
本社住所	〒104-8512 東京都中央区八丁堀2-12-7		
グループ社員数	789人		
拠点数	海外12社・7カ国・7拠点		

■ 取締役および監査役 (2019年6月27日現在)

代表取締役会長	藤本 秀朗	社外取締役	松本 守雄
代表取締役社長	木場 和人	常勤監査役	佐藤 宗生
代表取締役専務	西川 健之	監査役	黒田 克司
取締役	高橋 浩平	監査役	藤本 節雄
取締役	高橋 純也		

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月		
期末配当金受領株主確定日	3月31日		
中間配当金受領株主確定日	9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。		
公告掲載URL	http://www.uniden.co.jp/ir/library.html ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。		
株主名簿管理人・特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
上場証券取引所	東京証券取引所		

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人<三菱UFJ信託銀行>ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

株式併合に伴う当社株式のお取り扱いについて

当社は、第53回定時株主総会の決議により、2018年10月1日をもって普通株式10株を1株に併合することをご承認いただき、これに伴い単元株式数を1,000株から100株に変更することになりました。

なお、この株式併合に伴う株主様による特段のお手続の必要はございません。

Uniden®

ユニデンホールディングス株式会社
Business Report 2019

2019年3月期 株主通信

2018.4.1 ▶ 2019.3.31

株主の皆様へ

平素はユニデングループに格別のご支援を賜り、篤く御礼申し上げます。

当社グループは、売上高および営業利益を重要な経営指標と位置付けており、エレクトロニクス事業においては、レーダーディテクター、ドライブレコーダー、車載用モニターの新機種などの新規製品を積極的に販売展開しております。また、前年度に引き続き、生産コストや販売費及び一般管理費の見直しを継続的に実施しております。さらに、不動産事業において、積極的に売買を展開した結果、当社グループ全体では、前年度と比較して売上高および営業利益が大幅に増加しております。

この結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高21,261百万円(前年同期比40.4%増)、営業利益2,647百万円(同32.8%増)、経常利益2,735百万円(同38.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,676百万円(同5.2%減)となりました。

株主の皆様のご期待に沿うべく、グループ一丸となり、利益の確保に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き力強いご支援を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役会長 藤本 秀朗

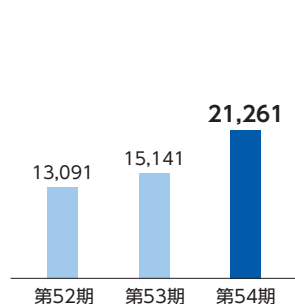
決算ハイライト

■ 連結財務データ

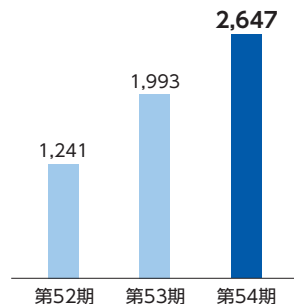
	第52期	第53期	第54期
売上高 (百万円)	13,091	15,141	21,261
営業利益 (百万円)	1,241	1,993	2,647
売上高営業利益率 (%)	9.5	13.2	12.5
経常利益 (百万円)	1,432	1,970	2,735
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,478	1,768	1,676
1株当たり当期純利益 (円)	25.12	300.61	284.97
総資産 (百万円)	35,543	36,969	39,610
純資産 (百万円)	27,648	28,869	30,691
1株当たり純資産 (円)	466.40	4,855.88	5,104.72

(注) 2018年10月1日付けで普通株式10株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。第53期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算定しております。

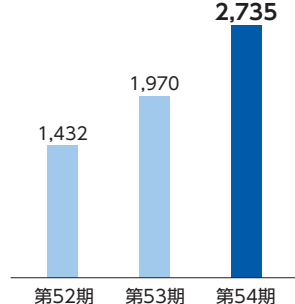
■ 売上高 (百万円)



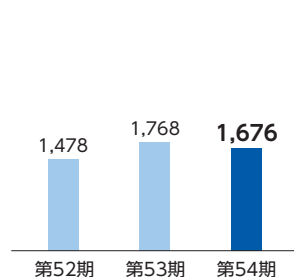
■ 営業利益 (百万円)



■ 経常利益 (百万円)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



部門別売上高

エレクトロニクス事業

売上高 **130**億円

■ 無線通信・応用機器

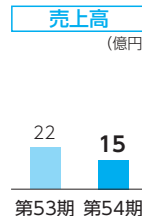
売上高 **101**億円

当区分では、北米市場においてレーダーディテクター、スキャナーラジオの販売が好調に推移いたしました。海上無線機ではOEM(相手先ブランド)での供給先の方針変更により販売が大幅に減少致しました。オセアニア市場においては、ワイヤレスセキュリティカメラおよびUCB無線機器の売上が引き続き好調に推移しました。

■ 電話関連機器

売上高 **15**億円

当区分では、全体的に市場規模の縮小傾向により、当区分全体では売上台数34万台(前年同期比31.5%減)、売上高は1,514百万円(同30.0%減)となりました。



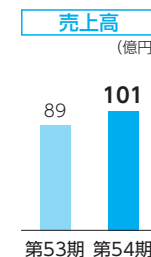
た。当区分全体では売上台数126万台(前年同期比8.6%増)、売上高10,140百万円(同23.1%増)となりました。



RADAR DETECTOR R7



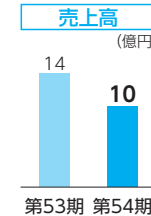
UCB MOBILE シリーズ



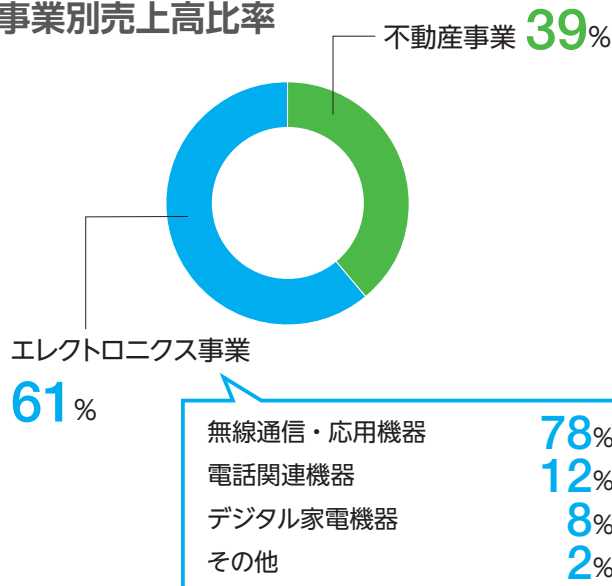
■ デジタル家電機器

売上高 **10**億円

当区分では、国内市場での車載用チューナーの需要減により、販売台数、販売金額がそれぞれ減少しております。当区分全体では、売上台数4万台(前年同期比39.9%減)、売上高1,074百万円(同22.0%減)となりました。



事業別売上高比率



不動産事業

売上高 **82**億円

当事業では、前期に引き続き賃貸事業において安定的に収益をあげられる体制を維持することができたため、今期においても販売事業を積極的に推し進めました。その結果当事業全体では売上高8,232百万円(前年同期比234.2%増)と大幅な増収となりました。



ユニデン本社ビル

さらに詳しい決算情報は、当社IRサイトをご覧ください。

ユニデンホールディングス IR

検索